

発信！地域自慢⑧  
長者地区

## カボチャ<sup>がゆ</sup>粥を食べる集い ～食文化の伝承と交流の場～

☎市民連携推進課 ☎ 43・9182 FAX 47・1485

長者地区において開催されている「カボチャ粥を食べる集い」について、長者地区連合町内会の田村光男<sup>たむらみつお</sup>会長にお話をうかがいました。



長者地区連合町内会  
田村光男 会長

### ○きっかけは食文化の伝承

カボチャ粥は、カボチャが柔らかくなるまで煮込んだものにお米を入れて作ったお粥で、昔は、各家庭でよく食べられていました。しかし、近年は食べる機会が減り、若い世代、特に子どもたちの中には、カボチャ粥

そのものを知らないという人も増えてきました。

そこで、伝統的な食文化が忘れ去られてしまわないよう、平成6年から毎年、公民館で「カボチャ粥を食べる集い」を冬至の時期に開催しています。

糠塚地区は農業が盛んな地域であり、幸い、カボチャ粥を知っている人もまだ多く、調理については、長者婦人会の方々からご協力をいただいています。

### ○住民が集う交流の場へ

この集いは、他の行事のように開会式やあいさつといった堅苦しいことはせず、参加したい人が自由に出

入りして、のんびりと食事を楽しんでもらうようにしています。カボチャ粥を実際に食べたことがあるお年寄りをはじめ、食べたことがないメニューに興味を持った子どもやその両親など、幅広い年代の方々が、冬至という寒い時期に集まって温かいカボチャ粥を食べながら、ゆっくりと話をすることができる、身も心も温まる交流の場となっています。

### ○できることをやってみる

食文化を伝えていくために始まったこの集いは、決して大きな行事ではなく、地域の人たちの協力を得て、できることをやっただけの素朴な集まりでした。それが、地域の方々に興味を持っていただけの結果、食文化を伝えるだけではなく、近年薄れがちな住民同士の交流を深める場にもなっています。

大きな行事ではなくとも、地域でできることをやってみるということが大事だと感じており、これからも続けていきたいと思っています。